第96号　日曜金　（日刊）　報　日　城　磐　昭和25年3月31日　（可認物便郵種三第）昭和廿五年三月十日　（一）

夕刊

磐城日報

発行所　磐城日報社　市白銀町十一
電話（呼）一〇三八番
編集発行人　後藤幸夫
印刷人　丸山徳平
毎週水曜日休刊
購読料　一ケ月三十円　一部一円

飯野一日から平市
初代所長は現村長
吏員も全部市に移さる

平市と飯野村の合併は過般の縣會で正式に決定いよ〳〵四月一日から飯野村を廢して村役場には「平市役所飯野出張所」の看板がかかげられるが市では明三十一日の臨時市會で村長永山亮太郎氏の所長を決定する、尚現在の吏員は全部市に引きつがれ一部の吏員を本廳に通勤させるほかは出張所勤務となる

經濟を改め商工
新たに農務、衛生課設く

平市では飯野村の合併により農政事務がいよ〳〵繁雑を來すのでこれ迄經濟課で扱つて來た同事務を經濟課から分離しこれを機會に從來のけい濟課を廢してあらたに商工課を設けたほか農務、衛生兩課をしん設した これで今迄の八課は次の十課となつた

庶務、商工、社會、土木、稅務、敎育、保健、會計、衛生、農務

小、中學敎員、退職
合せて九十九名に達す

▲小學校では退職七十、新規四六、轉任七九、▲中學校では退職二九、しん規一六、轉任五五等で高等學校は未だ判明せず

郡下各小、中學校敎師人事異動については明三十一日平一小に於て各校長に傳達されるが現在迄判明した所によれば

氏の國際問題講演會は四月二日午後一時からマルトモホールで開かれる

義手足修理

日赤支部主催で

日赤福島支部主催の巡回義肢製作修理は十七、十八、十九、二十の四日間平市三崎町四〇の平授産場に於て平石城、相馬、双葉郡内に於ける身体障害者に對し身上相談及び義手義足の修理を實施する

遠藤菊次郎氏が優勢を傳へられている

四月の主食
お米は十九日分　むぎが十一日分

平市の四月中に於ける主食配給は米が十九日、むぎが十一である、なお食糧公團平支所では四月から市内の配給所を增設すべく計畫をすゝめている

寺島元次官講演會

既報、元外務次官寺島太郎施する

自労組波状要求
こんどは好間から

好間自由労組森田組合長のほか岡本、伊藤、松本の三氏は昨二十九日午后二時頃平職安所に押しかけ所長と會見次の四項目の善處方要求した

(一)輪番制の徹ばい
(二)最低生活の補償
(三)加配米の即日配給
(四)日曜をはい止せよ

これに對して佐藤所長は(一)土木監督所に交涉しらしい期待にそう樣取計る(二)既低賃金二百圓を支給せよとのことだが恐らく不可能なことだ(三)加配米について縣食糧かでは四月一日より一ケ月遲延で配給できるだろうと語つている(四)日曜はい止は法的見地より不可能だと回答した

新しい先生に辭令交付

敎委石城出張所では今三十日福島大學青年師範部及び福師のしん卒業生十九名に對し辭令を手交したがあたらしい先生は次の通り

福師卒男七、女四、福大青師卒男一、女七、計十九名

(現在迄二ケ月の遲配)

遠藤助役優勢

豊間町長選擧はきよう行は山田村上山田屋仁太郎(三七)は植田町仁井田農横田政雄さんの大豆代千七百圓を詐領した外數件の詐領を働いて廿八日植田地區署に檢擧

釣りだより

○海が荒れて横川は水がつかえたため小屋前のフナ釣りは二十七日頃から引續き惡いがこん度のド曜から日曜あたりは水もひくから大漁が望まれるまたこん度の水で北前にもフナは相當移動してるから水さえひければ北前のソダからみを探るのも決して惡くはない、餌はゴガイ(なぎさ亭)

平市人事

○出生

大野村山田字小湊齒科技工山田淺治(六三)はモグリで村大六人に齒の治療をしたり金冠やサンプラ等を入れてやつた事發覺二十九日平地區署に

恐ろしい小娘

小名濱所花畠無職山崎なを子こと阿部なを子(九)は去る九日晝頃平市白銀町論手恭子さん(三六)方を訪れ實妹(仝宅女中)の事で巧みに話かけ現金二千圓と衣類一万圓相當を詐取し逃走中だつたが二十九日市署に檢擧

大豆代等を横領

山田村上山田屋仁太郎(三七)は植田町仁井田農横田政雄さんの大豆代千七百圓を詐領した外數件の詐領を働いて廿八日植田地區署に檢擧

○石和田英夫さん長女のぶ子ちやん—舊城跡一〇武田　武さん長女典枝ちやん—五町目一六

○山田梅吉さん次女八重子ちやん—番匠町一九

○大塚末吉さん四男富男ちやん—田町五八

▲小嘗ハルさん(三三)材木町

▲死亡

戰時中から終戰直後にかけて食糧が最も欠乏してた頃は軒下はむろんの事、河原から土堤下迄も散々に掘返されて自供の爲に耕作者の自慢となつていた而も水田を借りて裏作にじやがいもなどを作ろうものなら借りられぬ人々の羨望の的となり、また收穫間際になると夜通し警戒に當つて盜難を豫防したものである。ところが食糧がふんだんに出廻り統制が主食を除いて外れたとなるとアレ程喧嘩腰に迄なつて作つた田ばには見向もせず又ド堤下や河原にも勿論誰れも手を出さなくなつてしまつた。こうなると全く人間程正直なものがないという感じがしみ〴〵と心の底から湧いて來る。いかに豊富に出廻るといつてもあまりにも熱しやすく冷めやすい国民根性の發露には悲觀せざるを得ない。われ〳〵としては日本の經濟がすつかり安定する迄后四、五年の間は經驗者はその經驗に物を言はせてあく迄食糧增產に協力すべきであると思うのである。

配達致します
一俵でも
ならば御用
セメントの
カマヤえ

木村守江氏

地方區公認決定

四倉町本町醫師縣教育委員長木村守江氏は二十九日の自由黨長老會議の選衡で既報の如く六月の參議院議員選擧に地方區から公認される事に決定した

有望なネン土事業

茨城側で調査開始

鑛物新活用委員會委員長で地質學の權威末野悌六氏はこの程常磐炭田を視察した結果茨城地區に三十二、三番程度の良質な耐火粘土が相當にある事を發見したので早くも茨城縣では中小企業對策として調査に乘り出したが粘土採掘は石炭程に企業的なものではなくその上良質なものになれば價格もトン當り二千圓前後という高値にあり今後のネン土使用は耐火煉瓦に又その他の工業用にます〳〵增大されるのでこれが採掘は大いに有望となつている尙本縣では赤井村が主産地で廣野夜の森等にあるが赤井以外は未開發が多い

平石炭局の改組

平石炭局では四月一日から現在の三部十二課を廢し二部八課に改めて人員を整理するがこれ迄「部」であつた勞務が新設の「炭政部」のもとに課に格下げされて置かれる尙新組織は次の如し

△炭政部＝炭政課、經理課、勞務課、統計課

△施設部＝施設課、技術課、開發課、總務課

東北大學合格者

磐城高等學校出身の新制東北大學合格者は次の如くである

△(理學部)遠藤英一、三戸信人、鈴木謙一、西山義一、水野登

△(教養學部)高橋眞次

常磐の勞協四滿妥協

ストを延期に導いたり或は七日間ストを二日間で打切りこれが爲磐炭勞から裏切り者的扱いを受けたりした常磐炭礦のいわゆる勞働協約問題はこの程妥協し二十五日假調印を濟ませたが三十一日林田所長の歸山と共に正式調印する

惡の少年二名檢擧

田人村荷路夫日雇業星喜八郎(二〇)は四ヶ年下の某少年と共謀して同村雜貨商井桁辨吉さん方から衣類、オーバーなど三十三点價格五万圓を盜んだ外村内でニワトリなどを盜みこの程植田地區署に御用

ニュース(東)(西)

◇＝(岩手)盛岡市宇榮園岩手復興貯蓄事務局長阿部俊二(五二)は日赤岩手支部長外縣下二百三十一名から集まつた貯蓄金のうち十万二千七百六十五圓を橫領していた事發覺廿八日市署に逮捕された

▼(茨城)＝那珂郡檜澤村消防團副團長材木ブローガー青柳孝男(三三)は同郡隆鄕村字高部材木商坂井源一さんに去る二月材木を世話するとて十四万圓を詐取した外合計二十万圓の詐欺を働いて二十九日大宮地區署に檢擧された

聲の天……

十一字詰三十行以內で建設的な意見の投書を歡迎いたします(係)

村民は迷惑

赤井村會が村長を不信任した爲に當の村長からの答えが解散であつた事はこれ迄絶體的に村會が村長を信任していただけ極めて皮肉というものです赤井村には三ツの暗流が流れています。いわゆる舊政友派と民政派、それに日曹派というのです。終戰後政黨にも大きな變革がもたらされ、民自黨という大政黨が生れましたが、その政黨も內部的に暗流があると同じく地方は地方で騷いでるのです。こん度の學校問題も元をただせば舊政、民の爭いに對し日曹派が油を注いだ爲一層燃え上つたのです。今時そんな騷ぎをしては村民こそいゝ迷惑なのですが、それを考えぬ議員さんには村民も寒心しています

(赤井村　一教員生)

先づ納税

いよ〳〵年度末目前に迫る

貴方の爲にも・お國の爲にも滯納は双方の損です

○加算税(百圓に付一日十錢)

○延滯金(百圓に付一日廿錢)

がかゝります

更正決定の税金は期限內に納めましょう

平税務署

アーガス目薬　近代化學

赤毛しら毛八千代染

五丁目　平藥局

◆お寫眞……スピード……皆樣の御期待通り早く出來る　スピード寫眞を御利用下さい　時間に、技術に、そして料金に滿足して戴けます　平常のまゝで一枚どうぞ!!　平館通り岡山寫眞館隣　スタヂオ◆パール電923

最新流行のコールドパーマお奬め申上ます　理容＝美容　直龍軒　平局横丁

入學用洋服各種　御入用セーラ服　春向　入念精選絶對格安　誇る品質　藤鈴　世界館前　電六八八

何でも揃つて何でも安い……　それ程でもありませんがそれに近ずこうと努力してます　百貨卸問屋　平市六町目(電四八五)　合資會社さかいや本店

貴女が選ぶ　ミスタイラたいら美人　化粧品でなく全商品百圓お買上毎に投票券進呈　服地類は三百圓毎に　平市銀座　藤越